

本文書では、国内外の保健機関や研究機関が発表した公式文書に基づいた情報が記載されています。そのため、報道機関向け会見等での発表情報は含まれていません。

国内外の保健機関や研究者が調査中のため、本文書の公開日から情報が大きく更新されている可能性があります。最新の情報をご確認ください。

## 複数国で報告されている小児急性肝炎 Q&A

### (第1版)

2022年5月10日

国立感染症研究所

日本を含む複数の国で報告されている小児の急性肝炎について、Q&A形式でまとめました。

#### 感染経路について

- Q1. 原因はなんですか？
- Q2. アデノウイルスが原因ではないのですか？
- Q3. 新型コロナウイルスが原因ですか？
- Q4. 新型コロナウイルスのワクチン接種が原因ですか？
- Q5. 過度の衛生管理で、子どもの免疫力が弱ったことが原因ですか？
- Q6. 感染経路は分かっていますか？

#### 国内の状況、調査について

- Q7. 国内の症例について、詳細情報を知ることはできますか？
- Q8. 日本でも小児の急性肝炎は増えていますか？
- Q9. 感染研は、どのような取り組みを行っていますか？

#### 予防について

- Q10. 保護者は何に注意すれば良いですか？
- Q11. 家庭や学校、施設で予防することはできますか？

## 原因、感染経路について

**Q1. 原因はなんですか？**

**A1. 原因は分かっていません。**

感染症の可能性の他にも、化学物質や環境要因などの別の原因がある可能性も含めてさまざまな仮説が立てられ、検証されています。

**Q2. アデノウイルスが原因ではないのですか？**

**A2. 原因として考えられている中で、現時点で有力視されているうちのひとつがアデノウイルスです。しかし、あくまでも可能性のひとつです。**

海外の報告では、調査中の小児の急性肝炎の患者の多くから、アデノウイルスが検出されています。

しかし、アデノウイルスが原因の子どもの肝炎はこれまでは多くなかったことから、他に原因がある可能性も検討されています。

**Q3. 新型コロナウイルスが原因ですか？**

**A3. COVID-19(新型コロナウイルス感染症)との関連はわかっていません。**

**Q4. 新型コロナウイルスのワクチン接種が原因ですか？**

**A4. 新型コロナウイルスのワクチン接種が原因である可能性は低いと考えられています。**

海外の報告では、調査中の小児の急性肝炎の患者の多くは、新型コロナウイルスのワクチンを接種していませんでした。

**Q5. 過度の衛生管理で、子どもの免疫力が弱ったことが原因ですか？**

**A5.** 仮説の1つではありますが、現時点では具体的な証拠は報告されておらず、他の可能性と並行して調査が進められている段階です。

原因のわかっていない疾患の場合、広い角度から原因を精査する必要があり、様々な仮説が提唱されます。その1つが、「新型コロナウイルス感染症の対策によって、アデノウイルスなどの感染を経験したことがない子どもが増えていることが、アデノウイルスによって小児の急性肝炎が起こっている原因」という仮説です。今後仮説を支持する証拠が出てくるかどうかを見ながら、精査・議論していくことになります。

**Q6. 感染経路は分かっていますか？**

**A6.** 現時点では不明です。

感染症なのか、他に原因があるのかについても、調査の段階にあります。患者同士の接触や、文化や行動の共通点など、ヒトからヒトに感染しているという証拠も見つかっていません。

## 国内の状況、調査について

**Q7. 国内の症例について、詳細情報を知ることができますか？**

**A7.** 患者ご本人やご家族の特定につながるため、1つ1つの症例についての詳細な情報は公開していません。

**Q8. 日本でも小児の急性肝炎は増えていますか？**

**A8.** 現時点では、「例年と比べて日本国内で小児の急性肝炎が顕著に増えている」という兆候はありません。

医療機関、都道府県等や保健所・地方衛生研究所と連携して、情報の収集を進めています。

**Q9. 感染研は、どのような取り組みを行っていますか？**

**A9.** 医療機関、都道府県等や保健所・地方衛生研究所と連携をしながら、積極的疫学調査(予防法や原因を明らかにするための調査)を行っています。

また、現段階では国内の症例が少ないこともあり、国外からの報告に注視しています。

国内の自治体、医療機関に情報共有や、検体のご提供をお願いしています。今後症例と検体が集まってくれば、国内の症例についても分析を進めていくこととなります。

## 予防について

**Q10. 保護者は何に注意すれば良いですか？**

**A10.** 以下のような症状がある場合は、医療機関にご相談ください。

- ・吐き気、下痢、腹痛などの症状が長引く
- ・黄疸(皮膚や白目が黄色く染まる症状)が見られる
- ・白い便が出る

海外の報告では、吐き気、下痢、腹痛などの初期症状が多くみられています。しかし、これらは子どもに一般的にみられる症状で、重い肝炎につながることは稀です。

**Q11. 家庭や学校、施設で予防することはできますか？**

**A11.** 現時点では、手洗い、換気、マスクの着用など、新型コロナウイルスに対する基本的感染対策の取り組みを引き続きお願いします。

なお、アデノウイルスに対する手指衛生に関しては石けんを使った手洗いが推奨されています。可能性のある原因として調査されているアデノウイルスは、アルコールが効きにくいウイルス(エンベロープがないタイプ)であるためです。

※ このQ&Aでは、小児の急性肝炎に関して、原因が分からない中でもできる日常的な感染症予防の方法として、手洗いを推奨しています。

## 参考文献

- ECDC. Communicable disease threats report, 1-7 May 2022, week 18  
<https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/Communicable-disease-threats-report-7-may-2022-allusers.pdf>
- IASR Vol 42 p67-69: 2021  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/aden-pfc-m/aden-pfc-iasrtpc/10290-494t.html>
- NIID. アデノウイルス感染症と肝炎について  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-lab/2521-cepr/11110-aden-hepatitis.html>
- UK HAS. Increase in hepatitis (liver inflammation) cases in children under investigation  
<https://www.gov.uk/government/news/increase-in-hepatitis-liver-inflammation-cases-in-children-under-investigation>
- WHO. Acute hepatitis of unknown aetiology – the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland  
<https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/acute-hepatitis-of-unknown-aetiology---the-united-kingdom-of-great-britain-and-northern-ireland>
- WHO. Multi-Country – Acute, severe hepatitis of unknown origin in children  
<https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/2022-DON376>